

鏡野のよい子シリーズ



「聴くことを大切に」

鶴喜小学校に赴任し、2年目になりました。なかなか例年と同じように行事をするのは難しい状況でありましたが、鶴喜小学校での一年を過ごし、学校のことも少しずつ分かっ

鶴喜小学校では、「三つのあ」を大切に指導しています。「あいさつ」「あつまり」「あとかたづけ」です。この中で私が気になっていることがありました。それは「あいさつ」です。元氣な子ばいに自分から挨拶をしてくれ、うれしうの子がいる一方で、下校時に先生から「さようなら」と声をかけられても「うつむいたまま帰ってしまいう子もいることが現状です。」

先日、担任をしている4年生の道徳で、「あいさつができた」という学習があったので子どもたちに問いかけてみました。

「みんな挨拶が大切なことは、よく分かっていますね。では、それでも出来る人出来ない人がいるのはなぜだと思いませんか？」

・思う時があります。
疲れている日は難しいよ。

・ 恥ずかしいからです。
・ 考え事をしてゐるからかな。

・一年生の時と比べて、学校に来る新鮮な気持ちを忘れてしまうからです。

・ゲームのことで頭がいっぱい！
子どもたちの意見を聞くと、本当に
かわいらしく面白いです。一人一人が
ちゃんと考えているので様々な意見が
出てきます。このようにやりとりをす
る中で、私は気がついたことがあります。

した。「あいさつをしなさい!」と正しいことを正しように押しつけるよりも、子どもたちが「分かっていることも出来にくい理由」を大人が聴くことが付くことが必要なのではないでしょうか。子どもたちは大切なことは、ちゃんと分かっていることをきちんと教えるのも正しい大切なことですが、顔を見て、その日の出来事を聴くことやその時の気持ちに共感してあげることと前者と同じくらい大切なことだと私は思います。学校では、毎日たくさんの子が話をしに來てくれます。私は、必ず子どもたちの話を聴くようにしています。が、「全員の子どもに対して、いつも目を見て聴いていますか。」と尋ねられるのではと思います。私が、子どもの声をうまく聴くことができるようにしようと、子どもと教師・子どもと子どもとが繋がる授業づくりや学級づくり、に近づけると思っています。さて、ご家庭では、いかがでしょうか。子どもたちとよく対話できていてご家庭がある一方、忙しさに紛れてつい「また今度」という大人もあるのではないのでしょうか。大人の基準で考えてしまいがちですが、どうか今週末、少しゆったりとした気持ちで子どもたちの話に耳を傾けてみてください。きっと、嬉しいこと、楽しいことがたくさんある子も多いと思いますよ。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
鶴喜小学校 岡本 涼龍

のびのびひろば

～ささのはさらさら～
七夕会をしたよ

7月7日は七夕の日。七夕は織姫と彦星が年に一度会える日だと言われていますね。奥津保育園でも富保育園のお友だちと一緒に七夕会を行いました。

会では七夕の由来について話を聞いたり、劇を見たり、それぞれが願いを込めて書いた短冊や飾りを紹介したり、七夕の歌を歌ったりしました。当日は、あいにくの雨でしたが、星空に思いをはせながら、織姫と彦星が会えていることをお願いしている子どもたちでした。

みんなの願いが叶いますように…。

みんなの歌声が
空まで届くといいね。



織姫様と彦星様が会えますように…。



七夕のお話の劇も見たよ。



はさみや折り紙などを使って年齢に合わせた七夕飾りを作り飾りました。



富保育園のお友だちと一緒に



(奥津保育園)